



PLATFORM-M⁺

モーター式フェーダー内蔵、音楽制作用 MIDI/ オーディオコントロールサーフェス



ユーザーズマニュアル



N1630



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

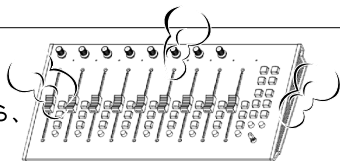
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのに
お気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す
記号



行為を禁止
する記号



行為を指示
する記号



警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により
死亡や大けがの となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
機能	5
上面パネルレイアウト	6
サイドパネルのレイアウト	8
使用法	9
Platform M ⁺ コントローラの接続	9
(Expander ~ use with Platform X ⁺)	10
Cubase	13
Ableton Live	15
Logic Pro	16
Samplitude	18
Pro Tools	20
(スタンドアロン)	22
Cubase	22
Nuendo	23
Logic Pro	24
Samplitude	25
Bitwig	27
Reason	28
Reaper	29
Studio One	30
Ableton Live	31
Pro Tools	32
Mac OS X に iMap TM をインストールする	34
Windows に iMap TM をインストールする	35
iMap TM による DAW モードの割り当て (Mackie Control/HUI) または MIDI 機能の定義	37
iMap TM を使った DAW モード (Mackie control/HUI) の割り当て	38
iMap TM を使用したユーザー定義モードでの MIDI メッセージの割り当て	40
ユーザー定義モードでの制御エレメント設定	42
iMap TM のその他の機能	44
ファームウェアのアップグレード	45
デフォルト工場設定に戻す	48
製品仕様	49
修理について	50

はじめに

ICON Platform M⁺ MIDI/ オーディオコントロールサーフィスをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Platform M⁺ MIDI/ オーディオコントロールサーフィスの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、www.iconproaudio.comにてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

ご購入日：

付属品をご確認ください

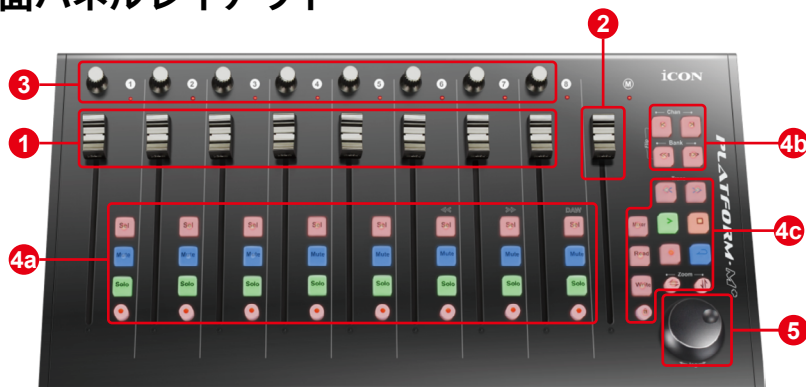
- Platform M⁺ USB MIDI コントローラー x 1 個
- CD 1 枚
アプリケーション – iMap (Mac および Windows)
取扱説明書およびクイック サポート ガイド
DAW ソフトウェア
- Quick Start Guide x 1
- USB2.0 ケーブル x 1
- 電源アダプター x 1pc

機能



- 非常にコンパクト、頑丈、かつ多目的
- 様々な Platform 拡張モジュールにより、最適な設定にカスタマイズ可能
- 10 ビットの解像度を持つ 8+1 タッチセンス付きモータライズ フェーダー
- デュアル機能エンコーダーつまみ (入力して回す) 8 個
- 高速検索およびコントロール用ジョグ・ホイール・シャトル
- セレクター、ミュート、ソロ、録音を含む、各チャンネル用照明式ボタン
- 再生、停止、録音、巻戻し、早送り、ループを含む、照明式トランスポート・ボタン 6 個
- ジョブホイールと併用される 2 つの方向キーを備えた、照明付き「Zoom」ボタン
- 各チャンネルが簡単に選択できる照明式「Track」ボタン、2 個
- 8 個のチャンネルを切り替える照明式「Bank」ボタン、2 個
- 拡張モジュールには 4 つの拡張ポートが装備されています
- ICON の「クイックセットアップ」ドライバーは、Cubase、Nuendo、Reasons、Bitwig でのインスタン
- トブラグアンドプレイに使用できます
- Cubase、Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Reaper、Bitwig、Studio One、Ableton Live、Sonar、Audition 用のコントローラ内蔵
- Pro Tool 用の内蔵の Mackie HUI プロトコル
- MIDI 機能が簡単にマッピングできる iMap™ ソフトウェアを同梱
- USB 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- Windows XP、Vista (32 ビット)、Windows 7/8/10 (32 ビットおよび 64 ビット)、Mac OSX (IntelMac) クラス・コンプライアント
- 高速 USB 2.0 対応
- 製造品質に優れた、Kensington ロックポート搭載の堅牢なメタルケーシング
- 12V/2.5A 電源アダプター付属

上面パネルレイアウト



注意: DAW によって機能がわずかに異なることがあります。各機能については DAW の取扱説明書をご覧ください。以下の説明は、Apple Logic™ の動作機能に基づいています。

1. チャンネルフェーダー

DAW のトラックの音量コントロールには、普通、8 個の 100mm モーター式フェーダーを使用します。DAW によっては、「フリップ」ボタンでフェーダーの機能を切り替えて、別の設定に変更することができます。このフェーダーはタッチセンシティブですので、手を触れた瞬間に自動設定に割り込むことができます。また、フェーダーはモーター駆動式なので、DAW アプリケーションで選択したチャンネルの現在のレベルに応じて、自動的に移動します。プロジェクトの自動録音設定が、フェーダー位置に反映されます。

2. マスターフェーダー

このモーター式 100mm フェーダーも、他の 8 個のフェーダーと同様に動作します。これは、お使いの DAW ソフトウェアのマスターチャンネルフェーダーをコントロールします。

注意: Pro Tools 限定 - Pro Tools ソフトウェアは最後のチャンネルフェーダーの隣にあるフェーダーが、常にマスターチャンネルフェーダーとして動作するように設計されています。

3. つまみ

9 個のロータリーエンコーダー式つまみは、トラックのパンポジションや AUX 出力レベルや DAW の EQ レベルをコントロールするために使用します。プラグインや仮想楽器の特定のパラメータを調整するためにプリセットすることもできます。

4. コントロール・ボタン

4a) 録音チャンネルコントロールボタンセクション

REC (録音) ボタン - 対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。

SOLO (ソロ) ボタン - 対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチがレッドに点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。別のチャンネルの SOLO ボタンを押すと、それらのチャンネルも同時にオンになります。

MUTE (ミュート) ボタン - 対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチがレッド点灯します。レッド点灯したチャンネルがミュートされます。

SEL (選択) ボタン - SEL ボタンを押すと DAW ソフトウェアの対応するチャンネルが起動し、特定の機能を実行することができます (例: 割り当て可能なエンコーダーで EQ を調整する場合、SEL スイッチを使って、調整したいチャンネルを選択することができます)。チャンネルを選択すると、対応する SEL スイッチの赤い LED が点灯します。

4b) モーター式フェーダー・コントロール・ボタン・セクション

Chan(アップ) ボタン - 全部のフェーダーが、1 チャンネル分、上にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

Chan(アップ) ボタン - 全部のフェーダーが、1 チャンネル分、下にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

BANK (バンクアップ) ボタン - 全部のフェーダーが、8 チャンネル分、上にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

BANK (バンクアップ) ボタン - 全部のフェーダーが、8 チャンネル分、下にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

4c) トランスポートおよびズーム・コントロール・ボタン・セクション

PLAY (再生) ボタン - DAW の再生機能を起動します。

STOP (停止) ボタン - DAW の停止機能を起動します。

REC (録音) ボタン - DAW の録音機能を起動します。

REWIND (巻戻し) ボタン - DAW の巻戻し機能を起動します。

FAST FORWARD (早送り) ボタン - DAW の早送り機能を起動します。

LOOP (ループ) ボタン - DAW のループ機能を起動します。

左 / 右ズームボタン - DAW アプリケーションのグラフィカルユーザインタフェース (GUI) を水平方向にズームします。ボタンを起動して、ジョグホイールを回すと拡大・縮小されます。

上 / 下ズームボタン - DAW アプリケーションのグラフィカルユーザインタフェース (GUI) を垂直方向にズームします。ボタンを起動して、ジョグホイールを回すと拡大・縮小されます。

MIXER (ミキサー) ボタン - このボタンを押すと、DAW のミキサーウィンドウが起動します。

READ (読み込み) ボタン - READ ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの読み込み機能が起動します。

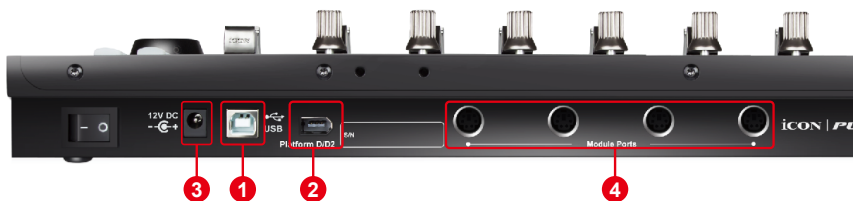
WRITE (書き込み) ボタン - WRITE ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの書き込み機能が起動します。

LOCK (ロック) ボタン - モーター式フェーダーがすべてロックされます。

5. ジョグホイール

ジョグホイールは、シャトルやスクラブ機能など、DAW アプリケーション固有の目的に使用されます。

サイドパネルのレイアウト



1. USB ポート

対応ソフトウェアとノート PC（またはデスクトップ PC）との MIDI ポートとして機能します。

2. LCD モジュール (Platform D / Platform D2)

付属のケーブルで Platform D / Platform D2 をここに接続してください。

3. 12V/2.5A 電源アダプター

ここに、付属の電源アダプターを接続します。

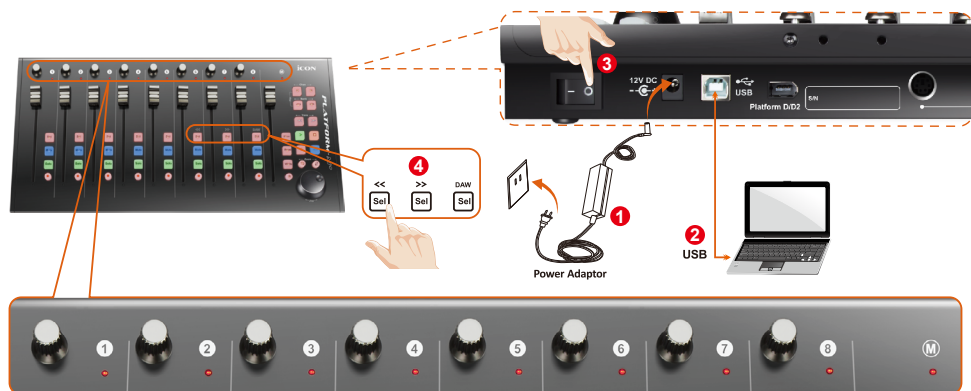
(**注意** : Platform M⁺ は、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USB バス電源では、Platform M⁺ を動作させるための十分な電源を供給することはできません。)

4. 拡張ポート

これらの拡張ポートは、Platform B（ボタンモジュール）などの専用プラットフォームシリーズ制御モジュールを接続するために装備されています。

使用法

Platform M⁺ コントローラの接続



2 USB ポートを介して Mac/PC に Platform M⁺ を接続する

お手持ちの Mac/PC で USB ポートを選び、USB ケーブルの幅広（平ら）な端を差し込んでください。Platform M⁺ に、ケーブルのもう一方の端を差し込んでください。Mac/PC は自動的に新しいハードウェアを検出し、画面に使用可能になったことが表示されます。

4 Platform M⁺ で DAW を選択する

<< (チャンネル6の「Sel」ボタン)/>> (チャンネル7の「Sel」ボタン)を押して、DAW リストをスクロールしてから、「DAW」(チャンネル8の「Sel」ボタン)ボタンを押して選択を行います。

Platform D / Platform D2 (オプション) がインストールされている場合、リストをスクロールして選択を行う際、DAW の名前が LCD に表示されます。それ以外の場合は、画面上部にある9チャンネルのLED表示灯がDAWを示します。以下の順番で切り替わります：

チャンネル 1 LED：Nuendo

チャンネル 2 LED：Cubase

チャンネル 3 LED：Logic Pro

チャンネル 4 LED：Samplitude

チャンネル 5 LED：Ableton Live

チャンネル 6 LED：Pro Tools

チャンネル 7 LED：ユーザー定義

チャンネル 8 LED：Reaper

チャンネル 1+2 LED：Studio One

チャンネル 3+4 LED：Reason

チャンネル 5+6 LED：Bitwig

チャンネル 7+8 LED：Sonar

チャンネル 1+2+3 LED：Audition

ヒント：Platform M⁺ は最後に選択された DAW モードを記憶し、スイッチを入れてから数秒後に同じモードを再入力します。(すなわち、最後に使用したモードを再使用する場合には、DAW モードを選択する必要はありません。)

5 DAW のセットアップ

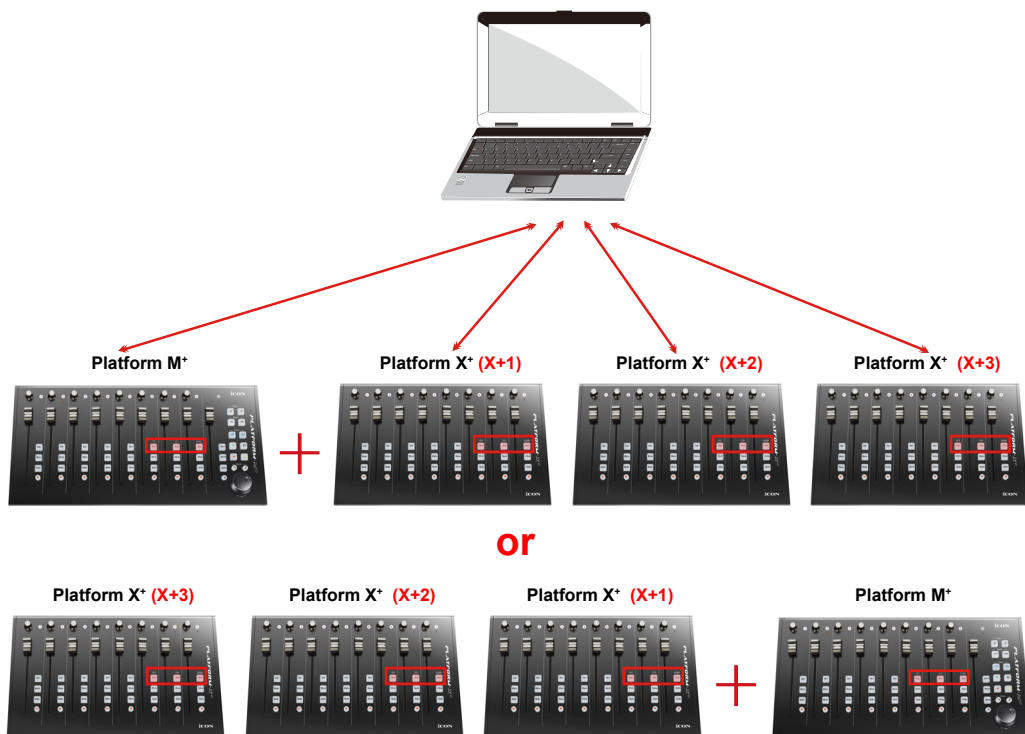
DAW または MIDI ソフトウェアの「MIDI セットアップ」または「MIDI デバイス」を使って、ICON Platform M⁺ コントローラーを起動します。

Logic™、Cubase™ や Nuendo™ では、「デバイスリスト」から「Mackie コントロール」を選択してください。

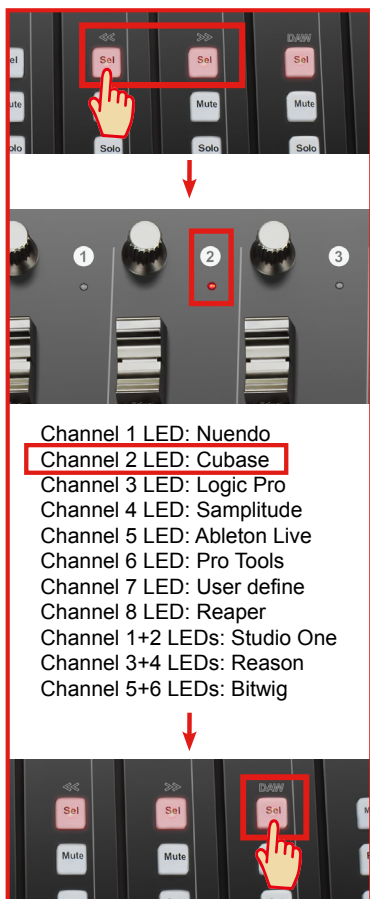
(**ヒント**: 当社のウェブサイト (www.iconproaudio.com) もご覧ください。また、各コントローラー (Platform M⁺) 製品ページの「Setup デモ」セクションには、種々の DAW の設定法を示した図が記載されています。

Setup デモリストに掲載されていない DAW に関しては、お使いのソフトウェアのユーザーマニュアルでハードウェアの設定を参照してください。)

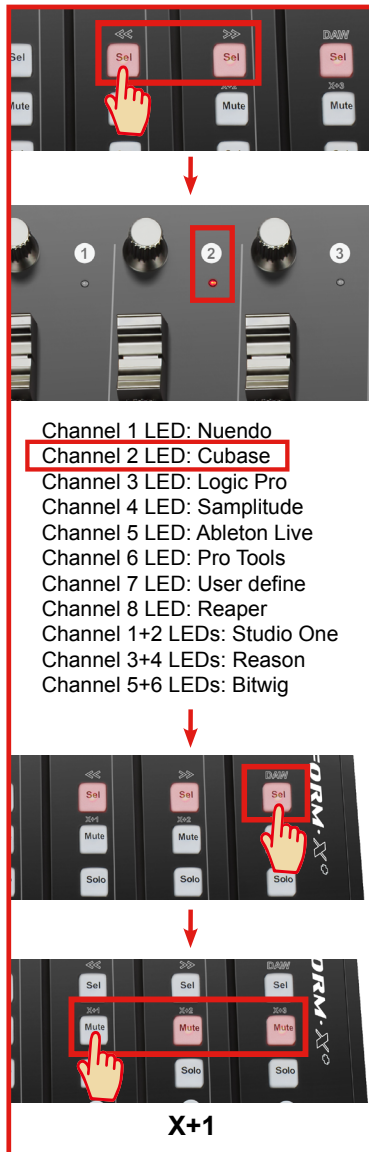
(Expander ~ use with Platform X⁺)



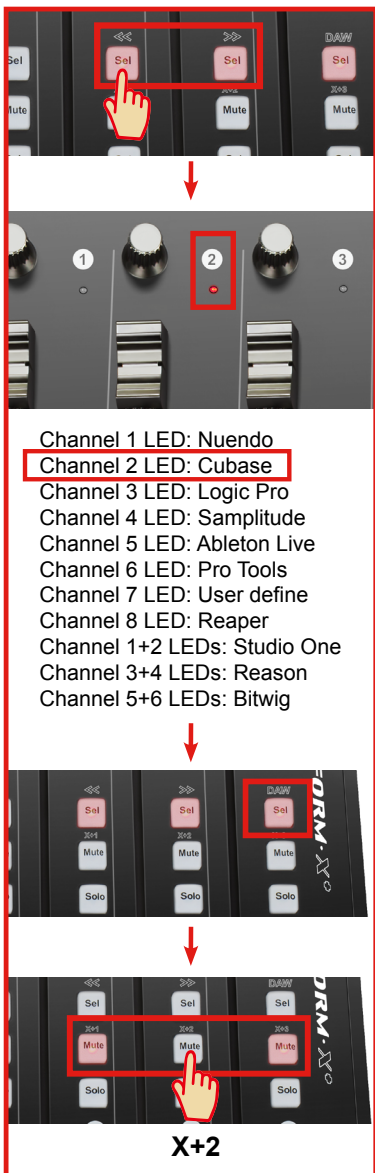
1 Platform M⁺



2 Platform X⁺ (X+1)



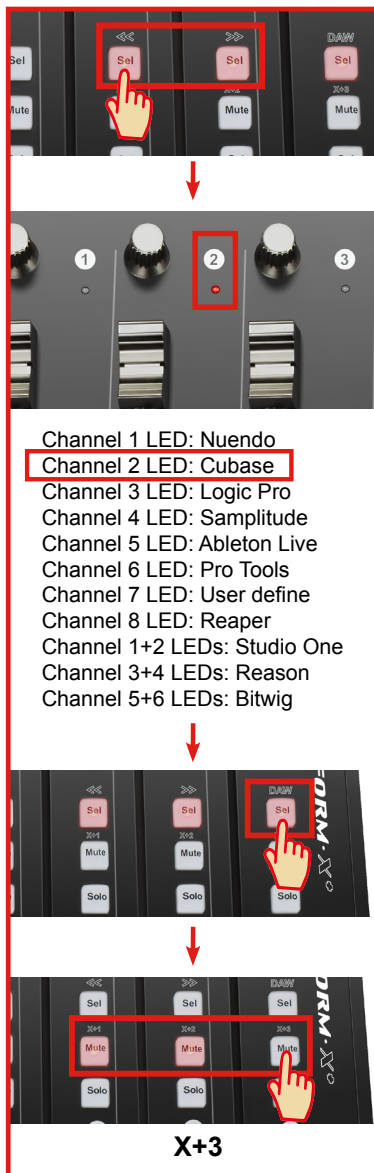
3 Platform X⁺ (X+2)



Channel 1 LED: Nuendo
Channel 2 LED: Cubase
 Channel 3 LED: Logic Pro
 Channel 4 LED: Samplitude
 Channel 5 LED: Ableton Live
 Channel 6 LED: Pro Tools
 Channel 7 LED: User define
 Channel 8 LED: Reaper
 Channel 1+2 LEDs: Studio One
 Channel 3+4 LEDs: Reason
 Channel 5+6 LEDs: Bitwig

X+2

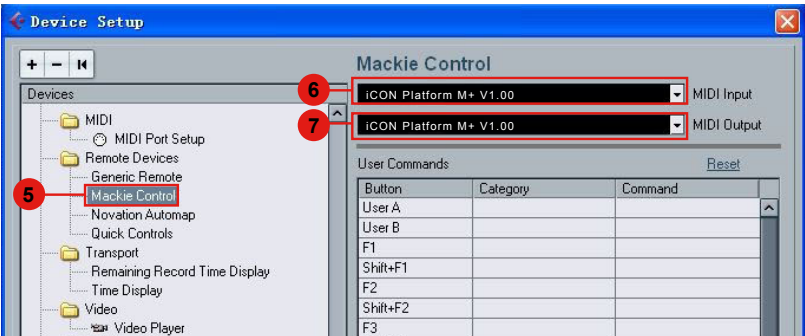
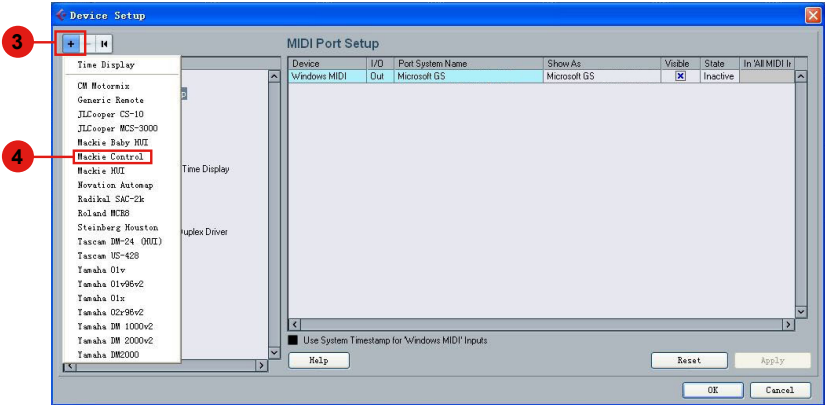
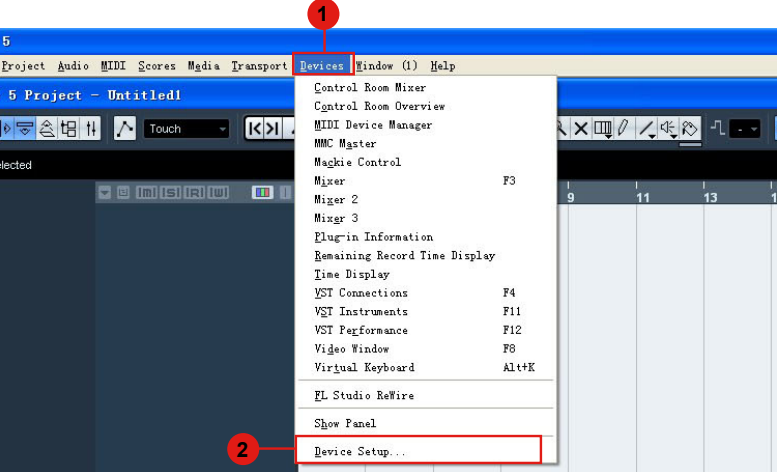
4 Platform X⁺ (X+3)



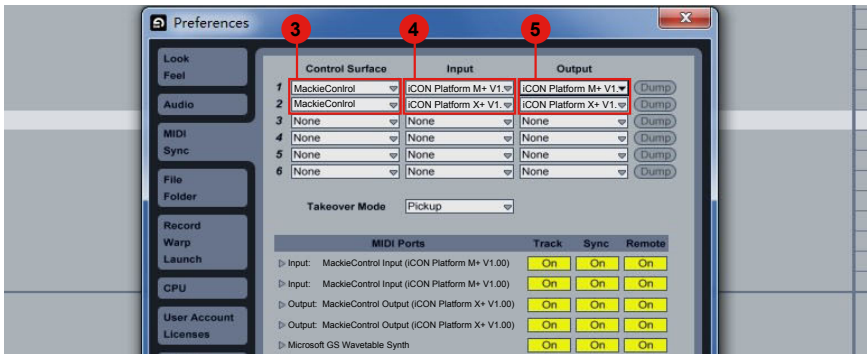
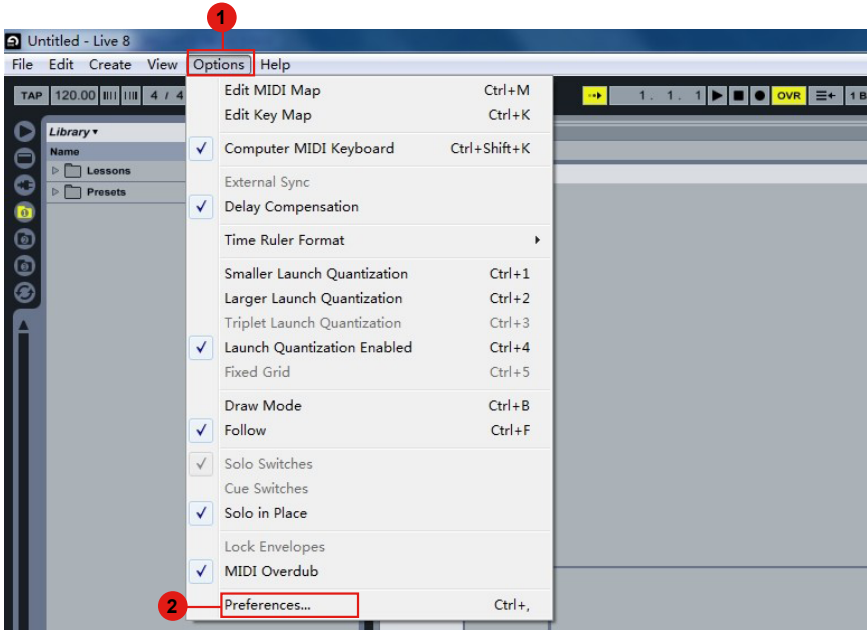
Channel 1 LED: Nuendo
Channel 2 LED: Cubase
 Channel 3 LED: Logic Pro
 Channel 4 LED: Samplitude
 Channel 5 LED: Ableton Live
 Channel 6 LED: Pro Tools
 Channel 7 LED: User define
 Channel 8 LED: Reaper
 Channel 1+2 LEDs: Studio One
 Channel 3+4 LEDs: Reason
 Channel 5+6 LEDs: Bitwig

X+3

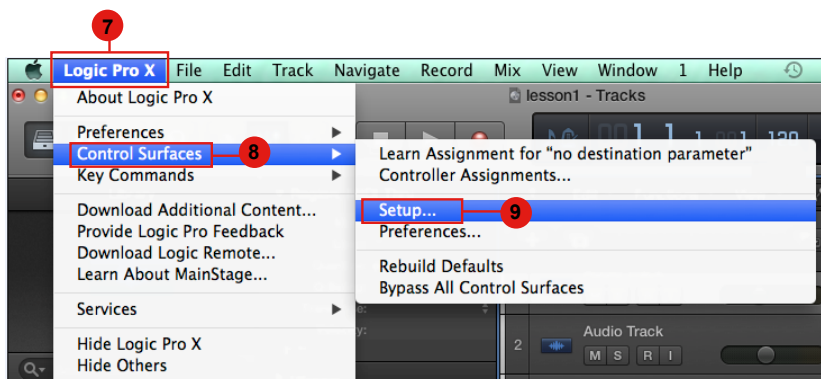
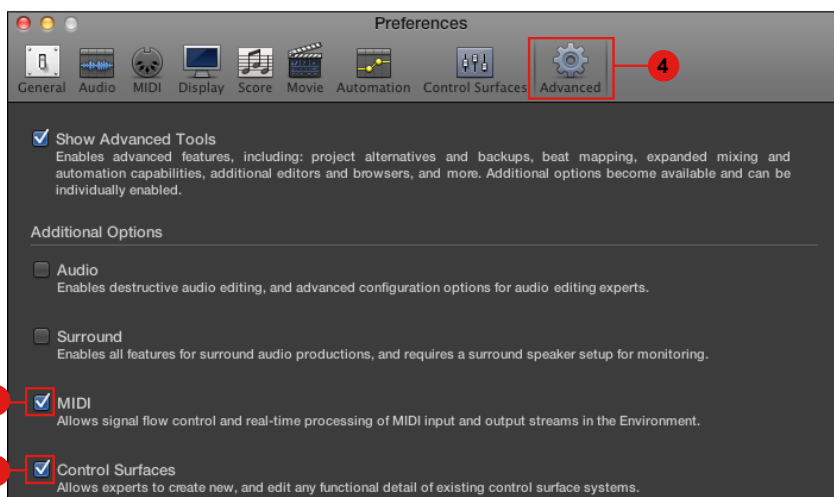
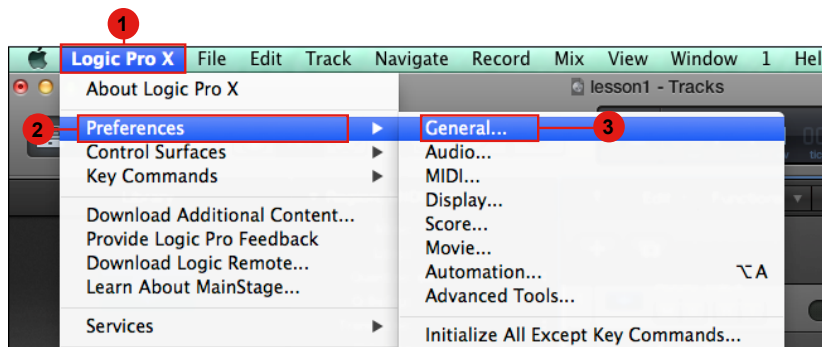
Cubase

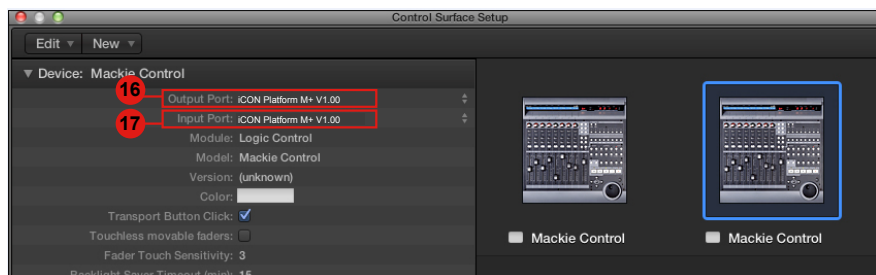
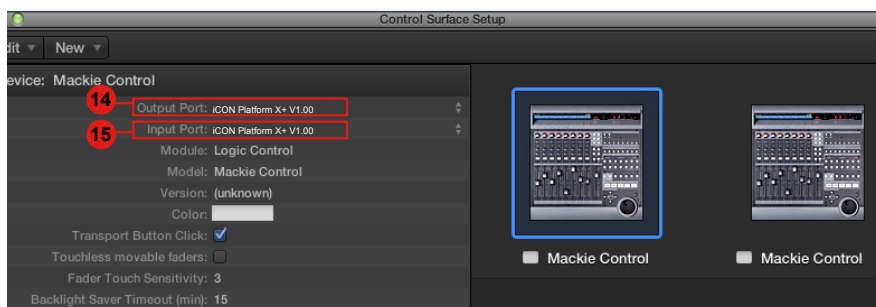
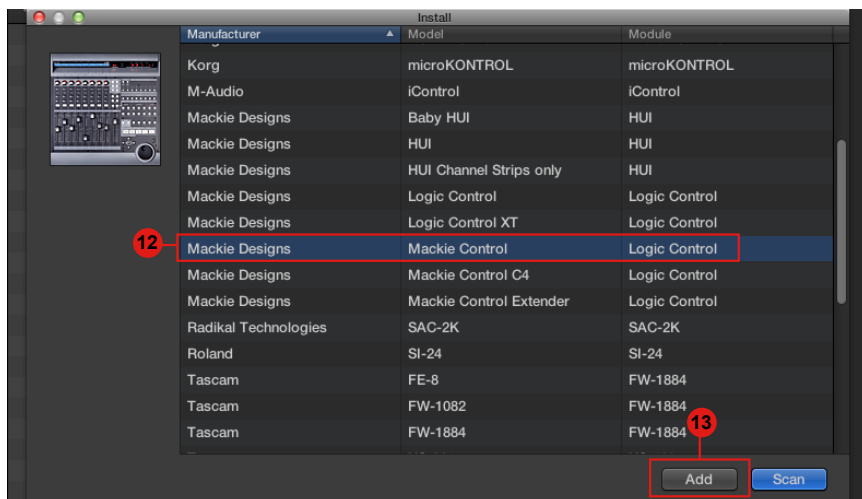


Ableton Live

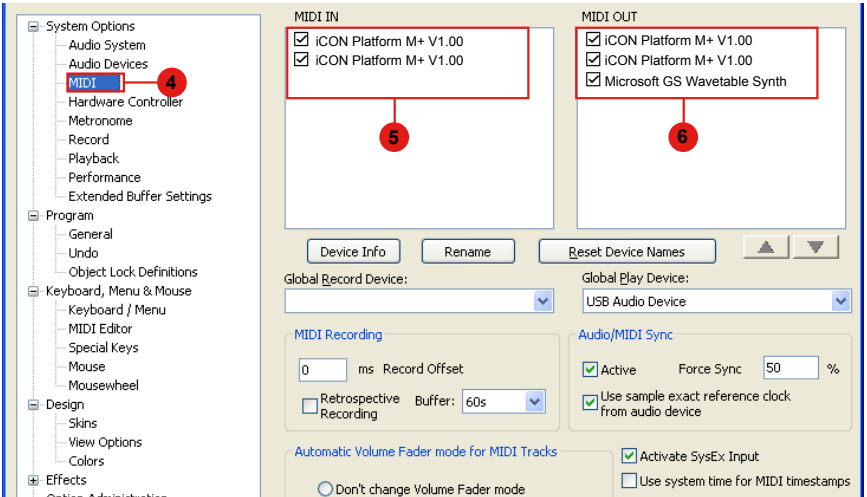
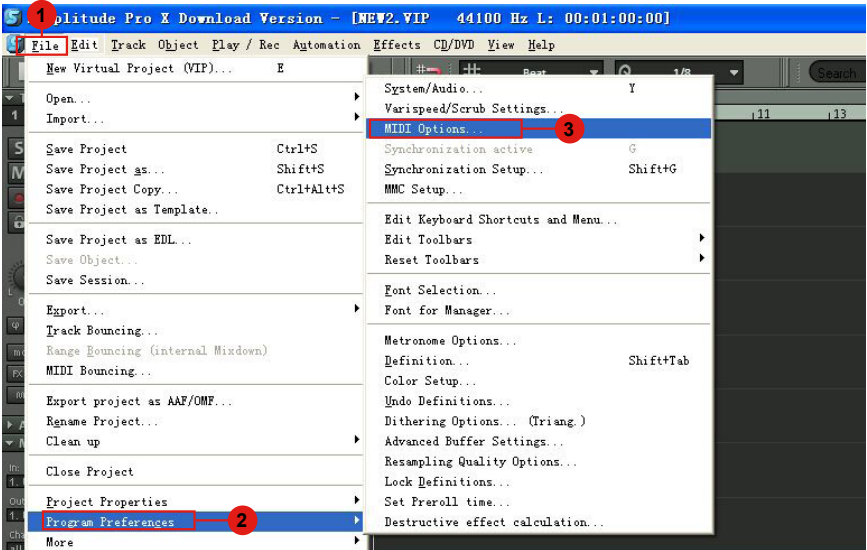


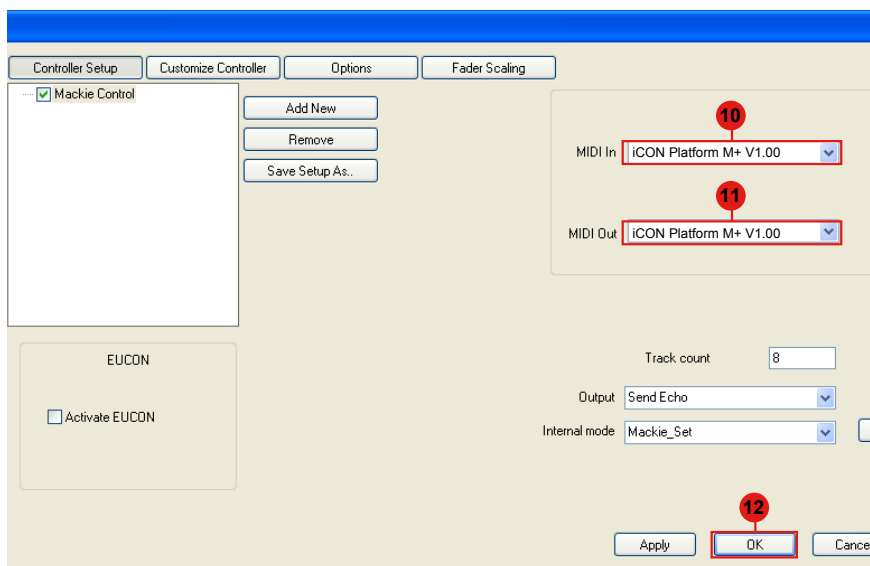
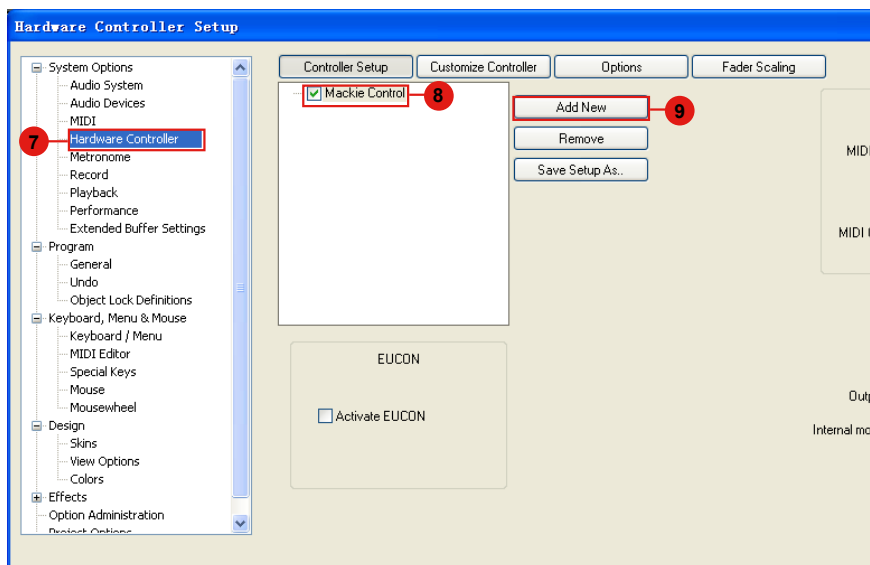
Logic Pro



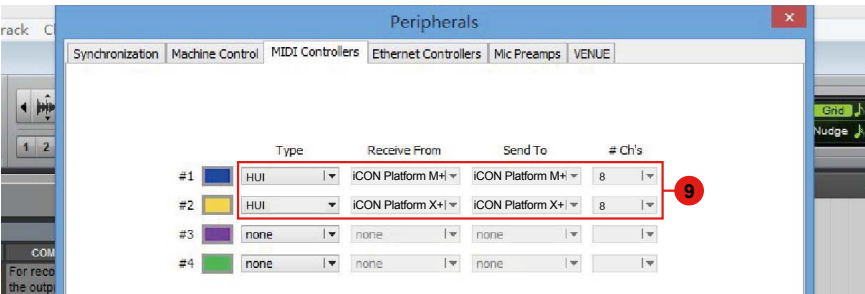
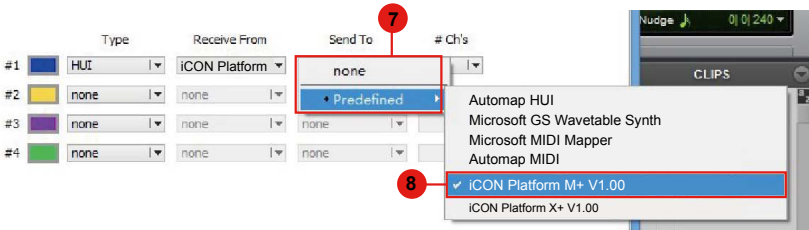
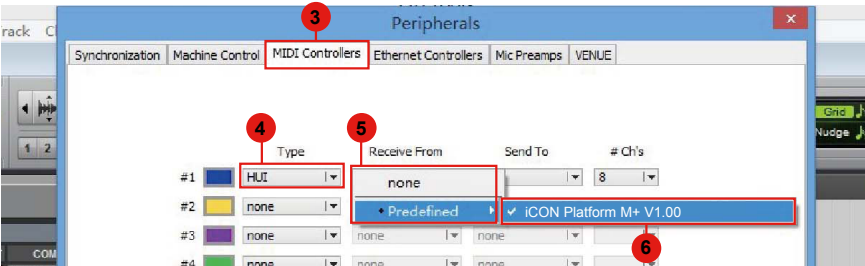
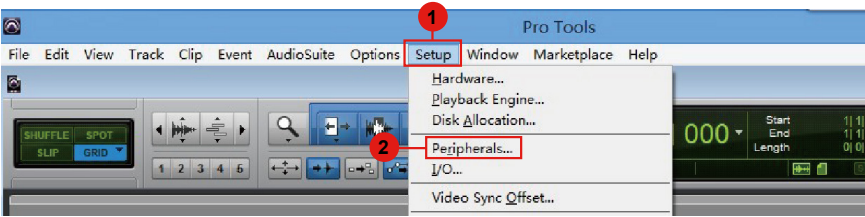


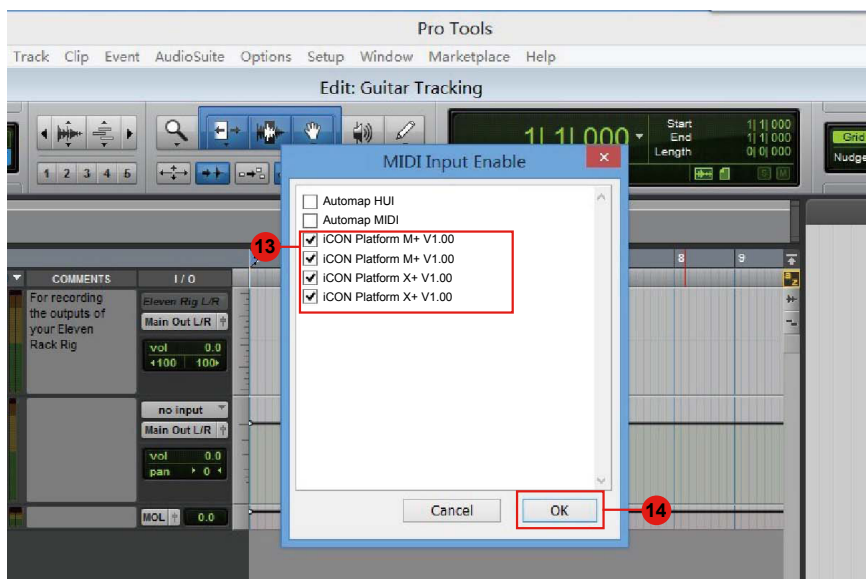
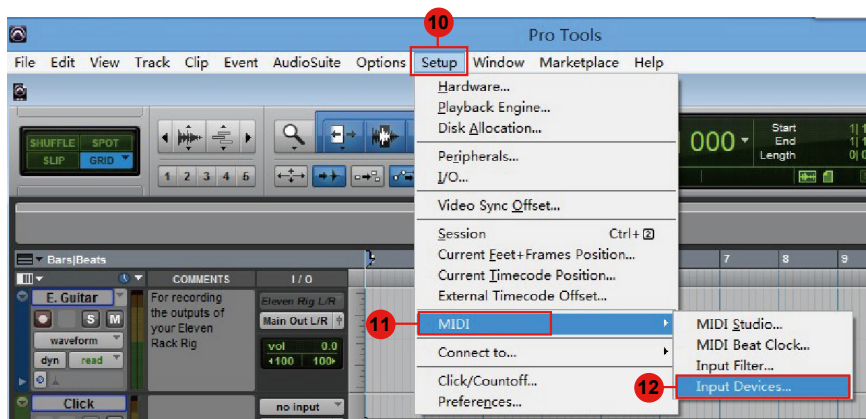
Samplitude





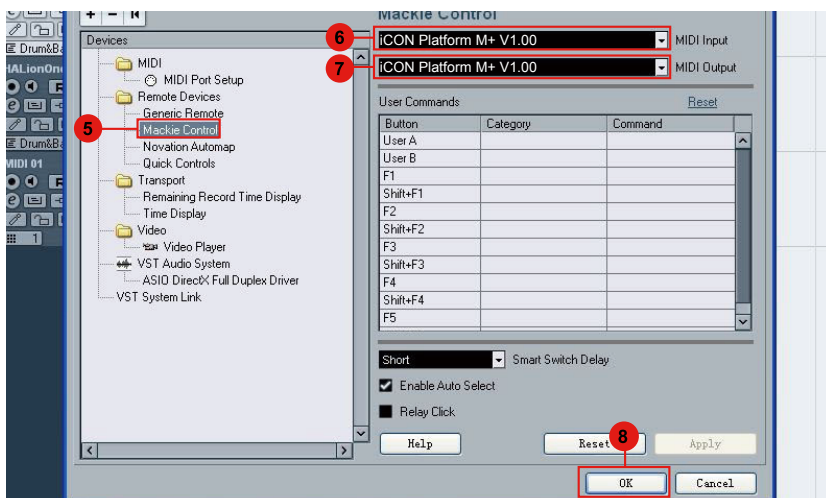
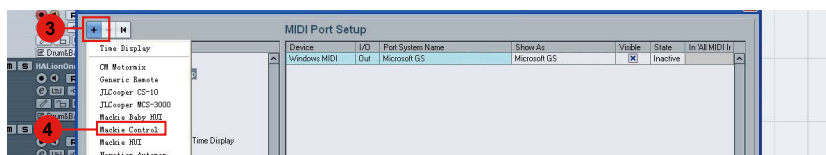
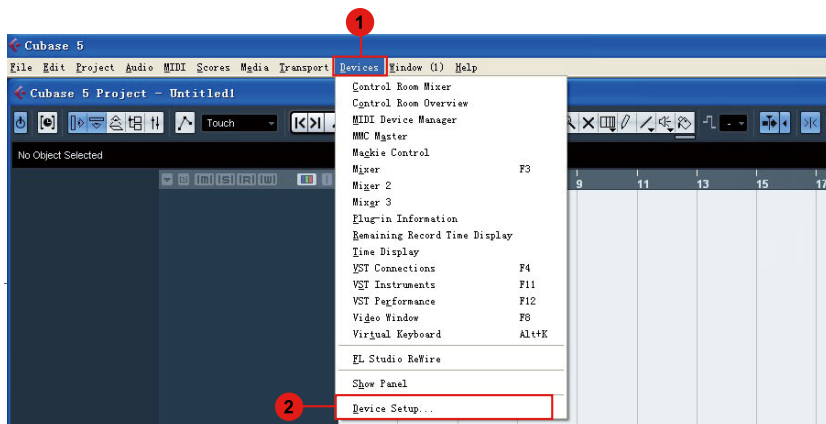
Pro Tools



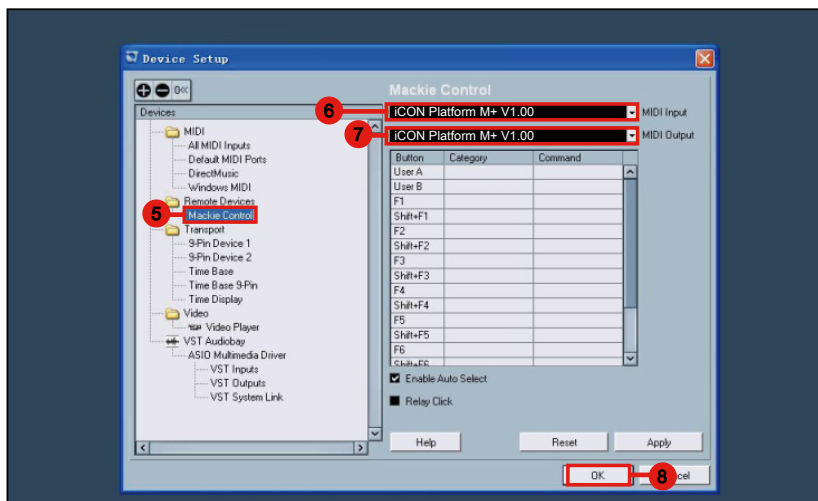
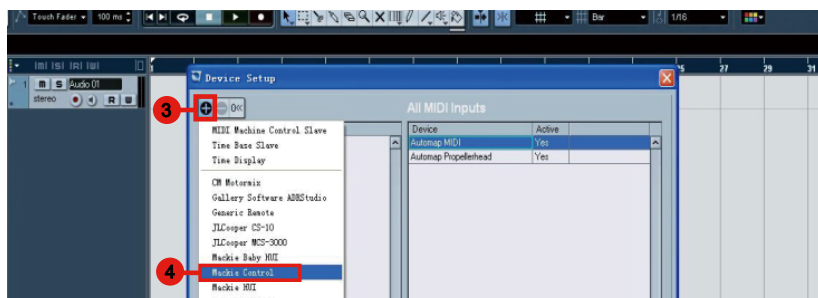
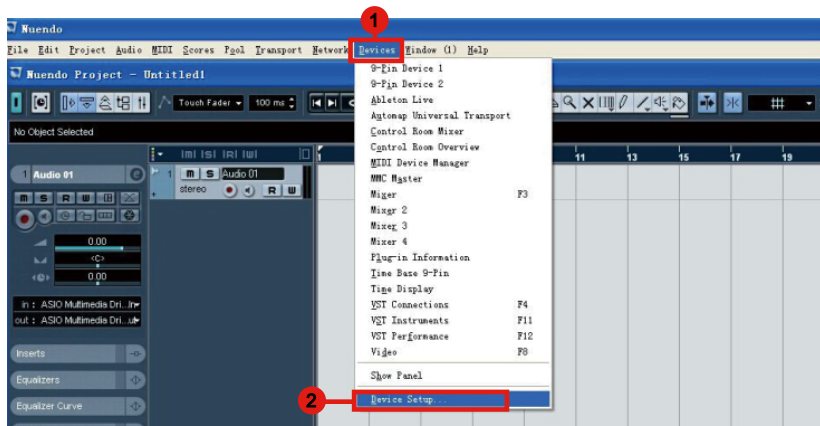


(スタンドアロン)

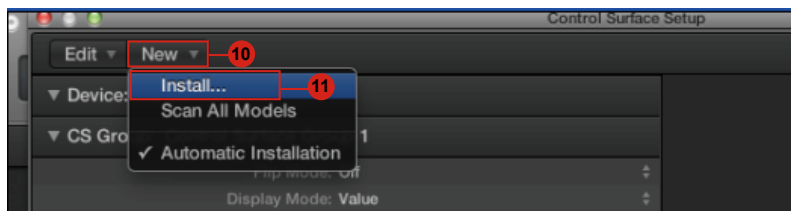
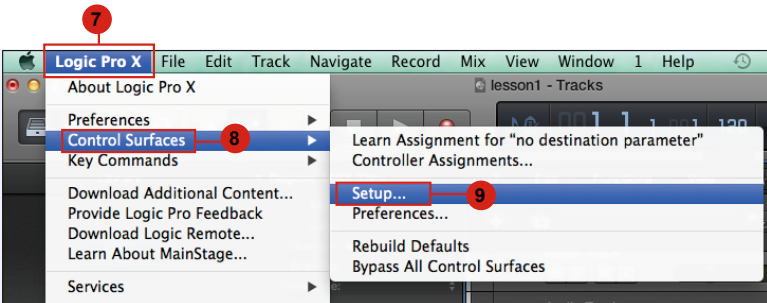
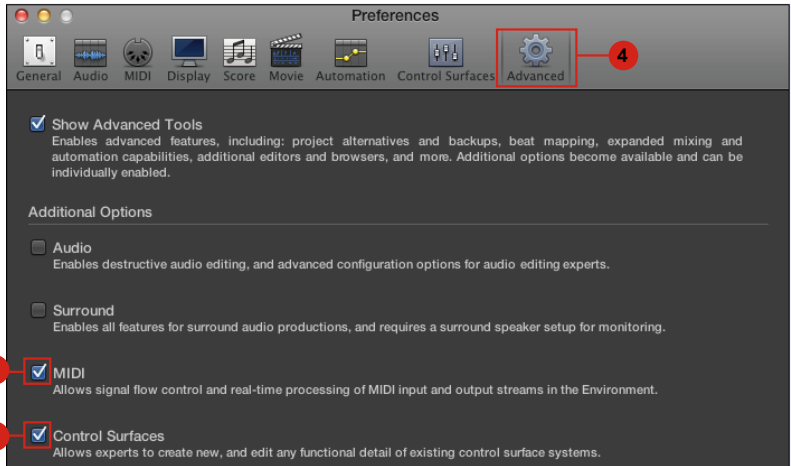
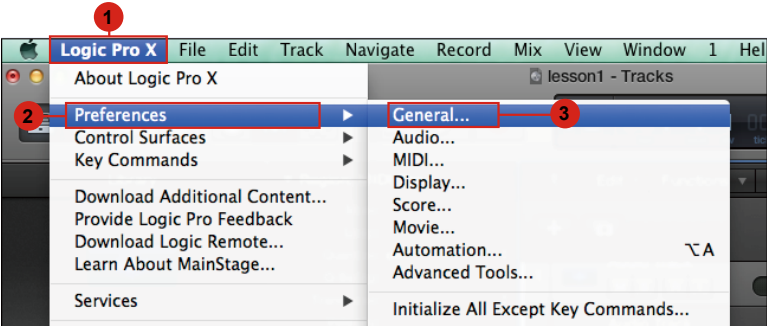
Cubase

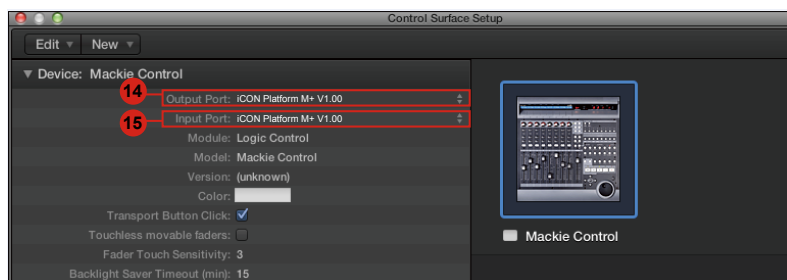
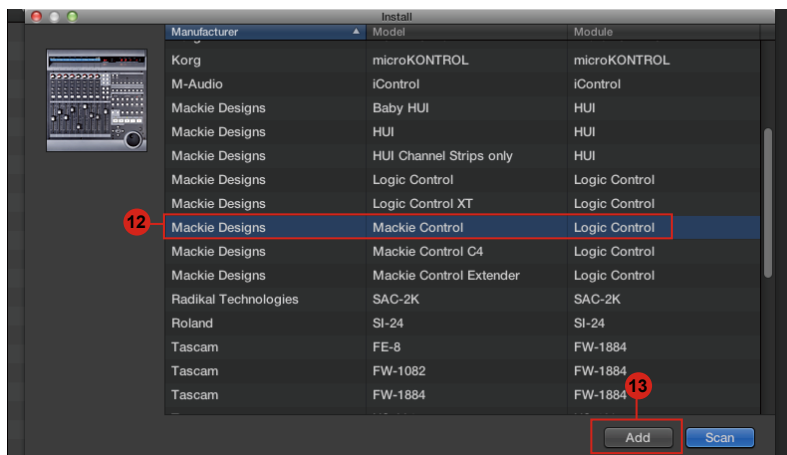


Nuendo

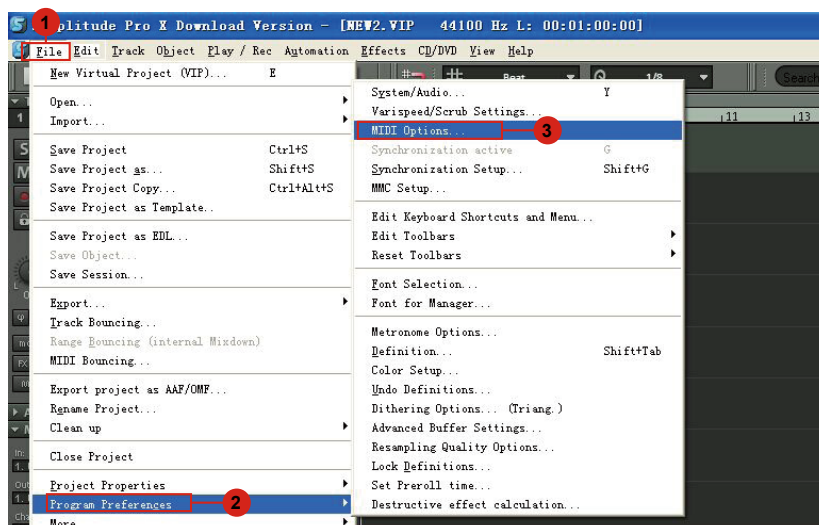


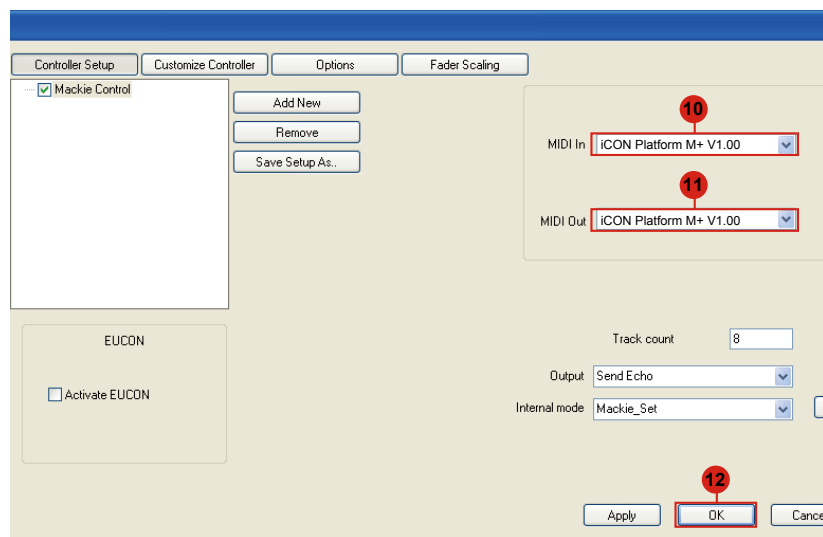
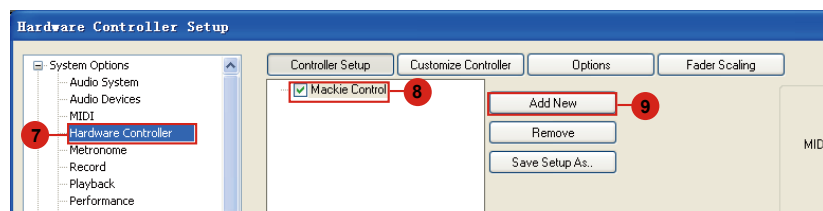
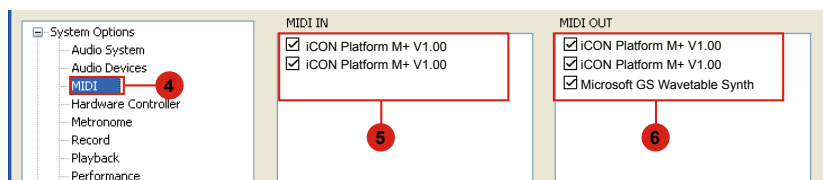
Logic Pro



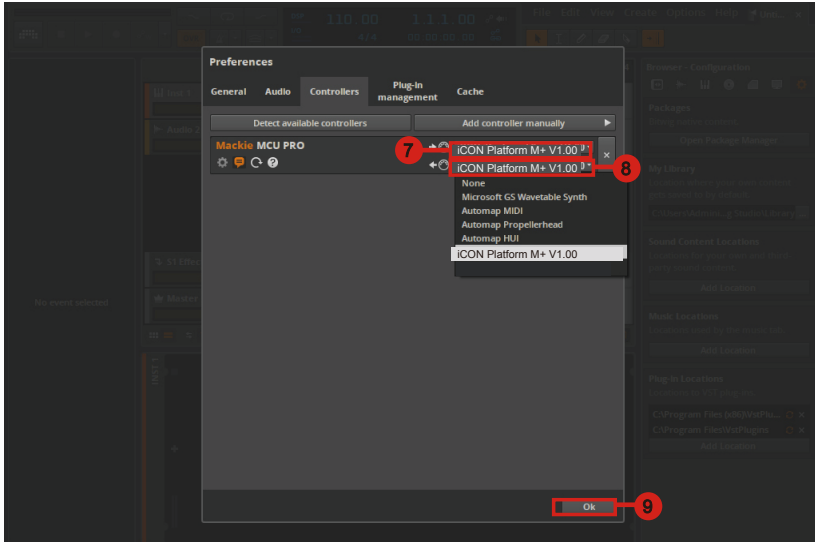
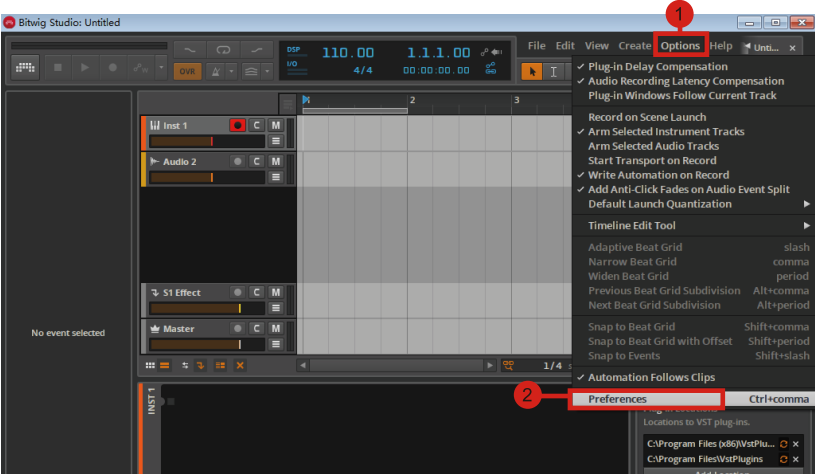


Samplitude

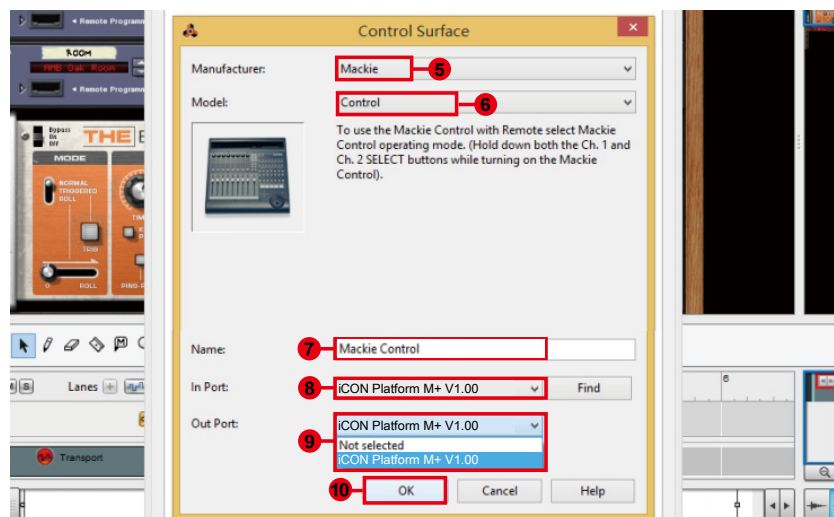
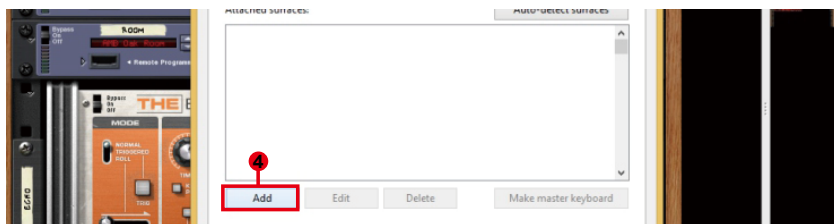
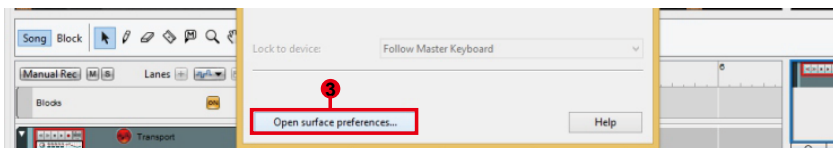
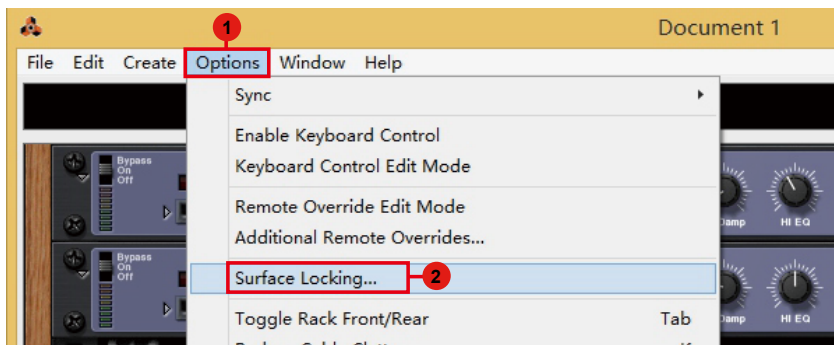




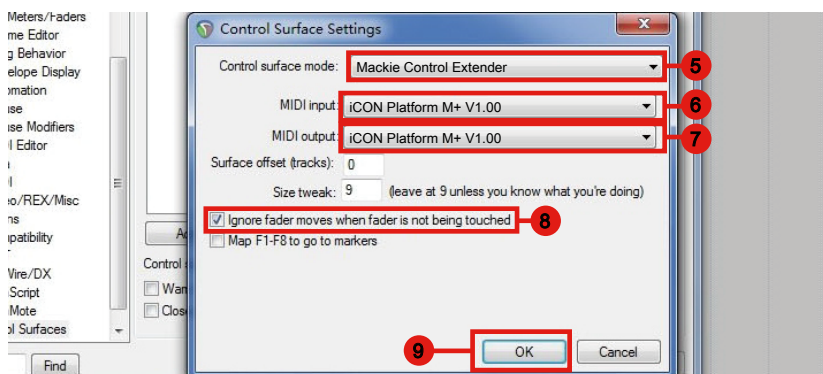
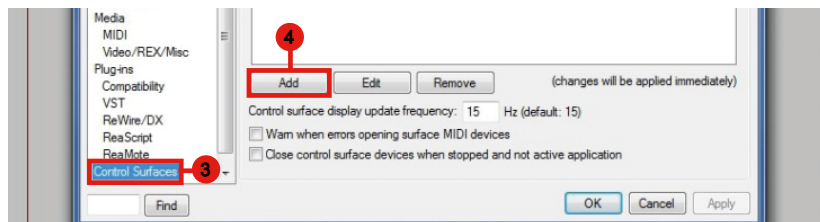
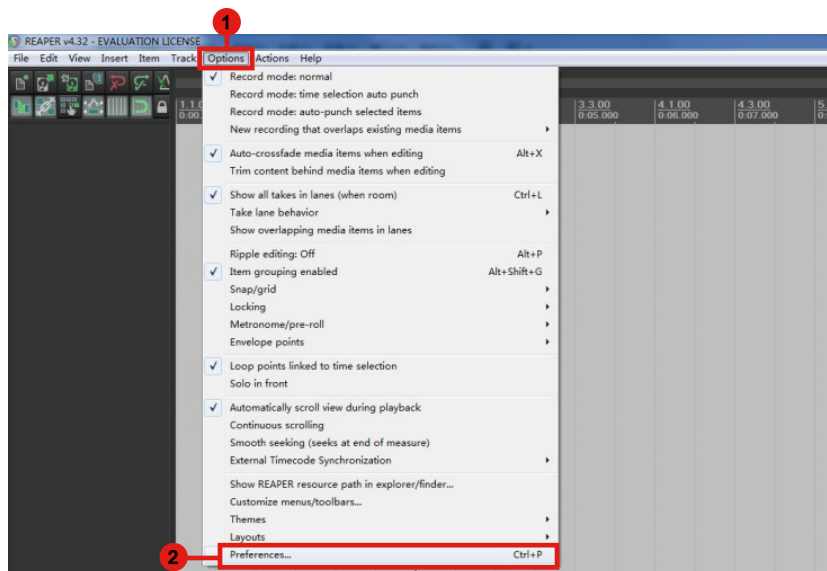
Bitwig



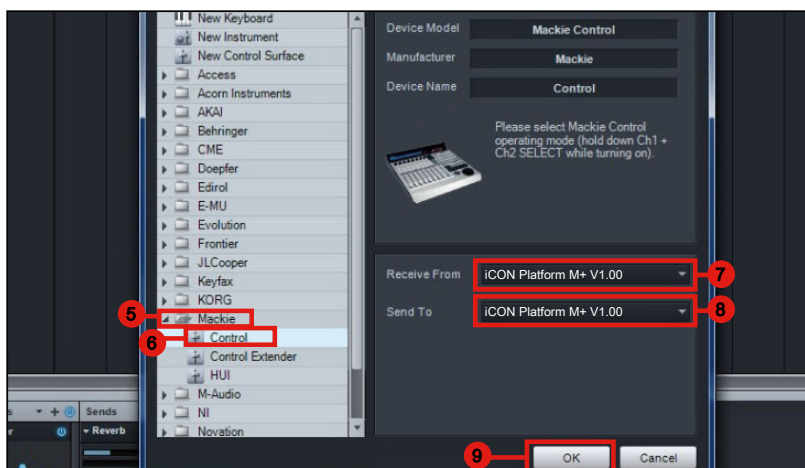
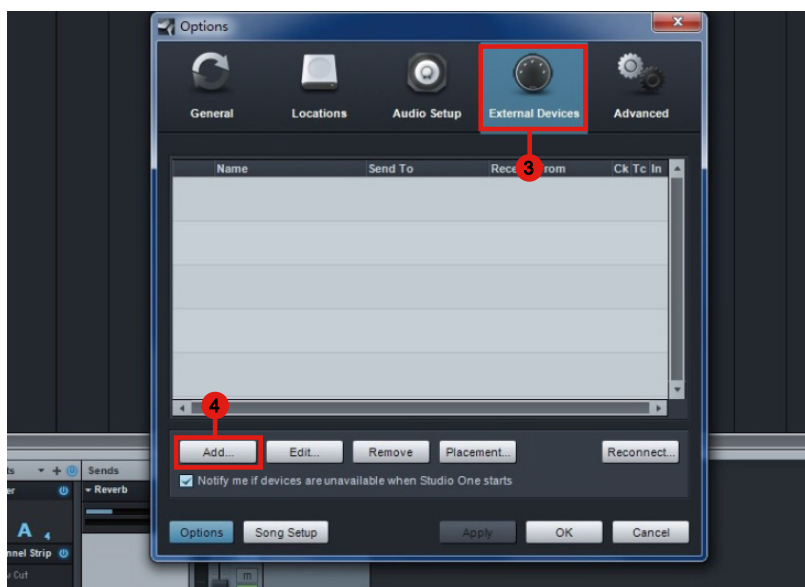
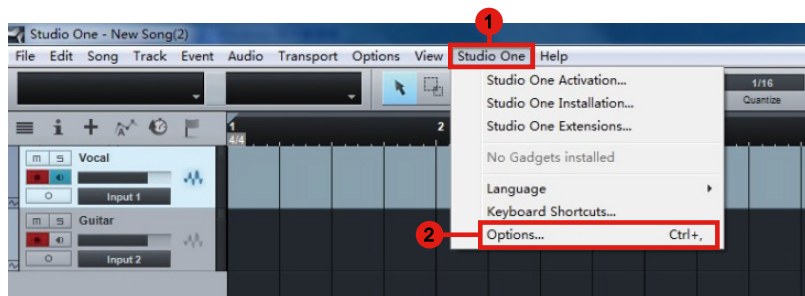
Reason



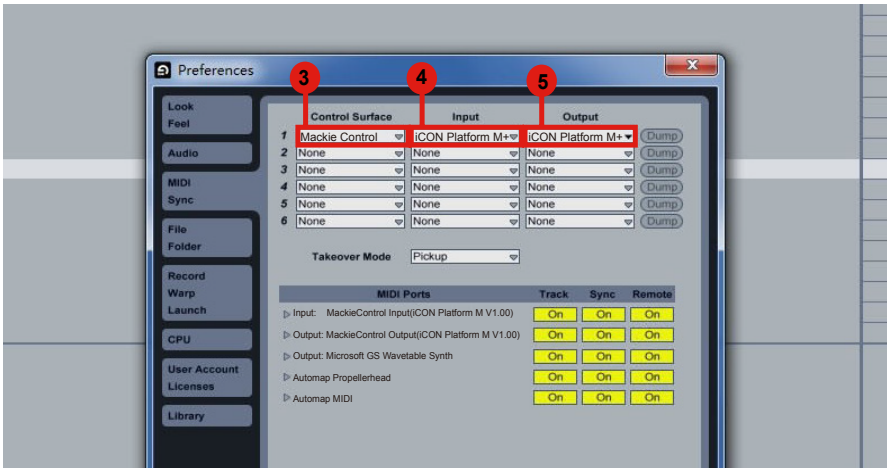
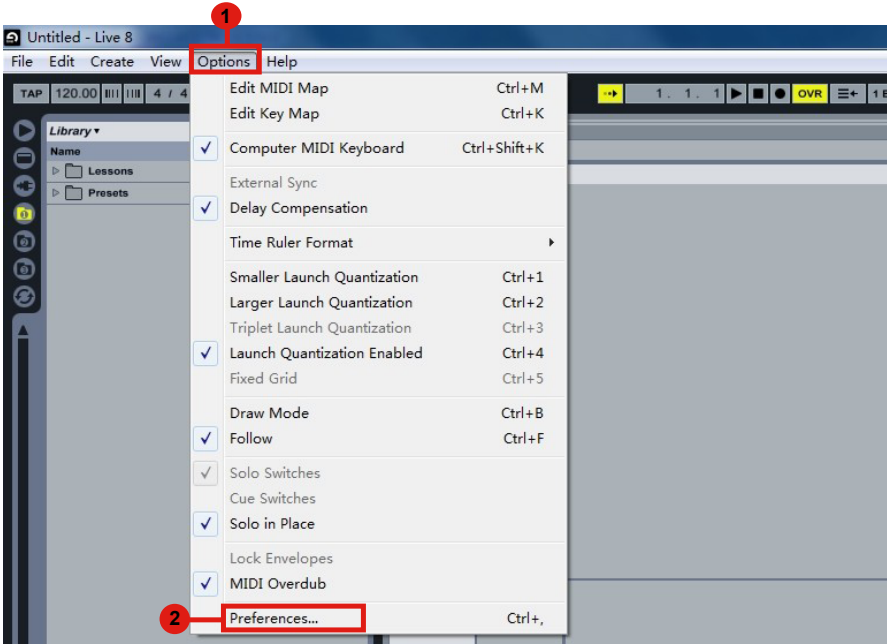
Reaper



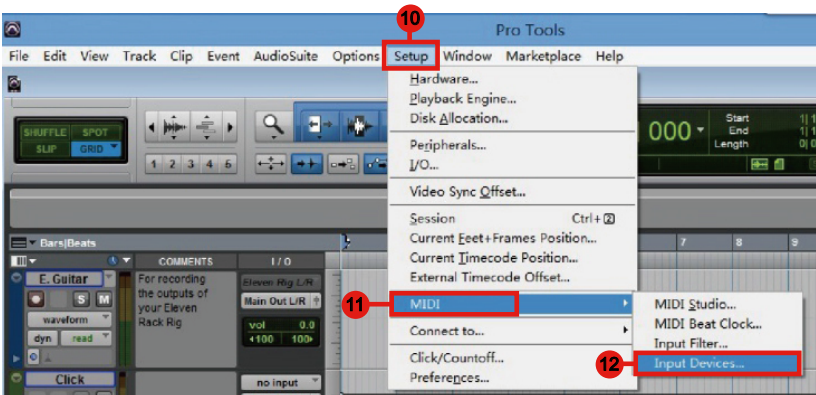
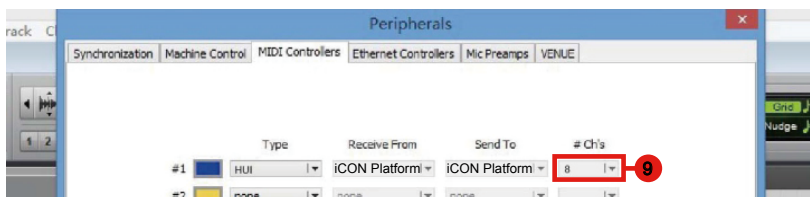
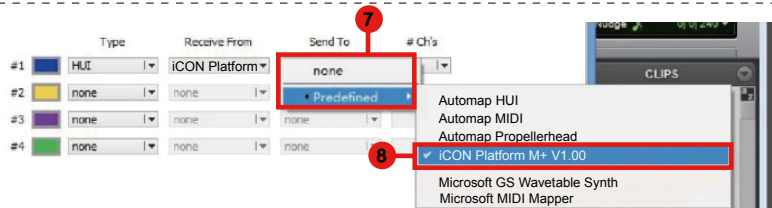
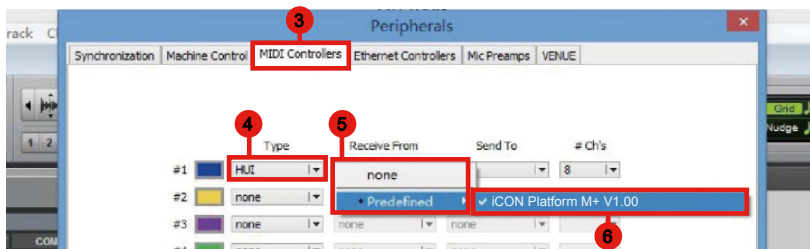
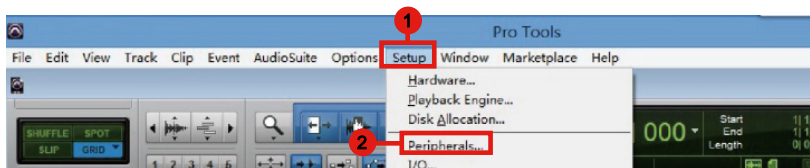
Studio One



Ableton Live



Pro Tools

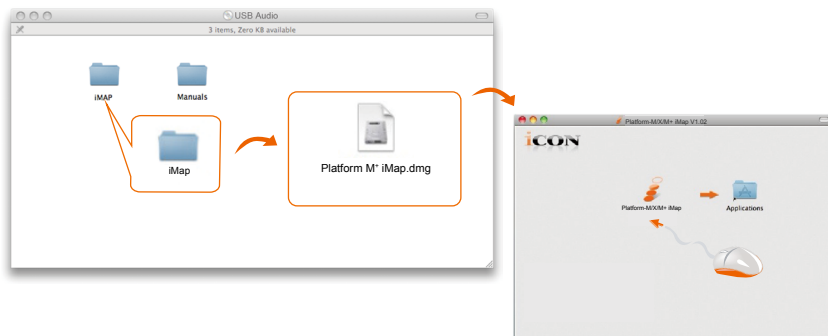




Mac OS X に iMap™ をインストールする

Mac OS X をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

1. CD-ROM ドライブにユーティリティ CD を挿入し、「Platform M⁺ iMap」アイコンをダブルクリックします。



ヒント: 「Applications」フォルダに「Platform M⁺ iMap」アイコンを「ドラッグ・アンド・ドロップ」すると、お使いの Mac のデスクトップに「iMap」ショートカットが作成されます。

Windows に iMap™ をインストールする

Windows をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ユーティリティ CD を、お手持ちのコンピューターの CD-Rom ドライブに挿入します。

CD を CD-Rom ドライブに挿入すると、図 1 のインストール画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

(**注意** : インストール画面が自動的に表示されない場合は、CD フォルダを開き、「Setup」という名前のアイコンをクリックしてください。)

(**メモ** : 当社のウェブサイトからファイルをダウンロードした場合は、ファイルを解凍して、設定アイコンをクリックしてください。)

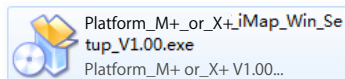


図 1

3. インストール先を選択します。

既定のインストール先のまま、あるいはお好みのインストール先を選択してから「次へ」をクリックします。

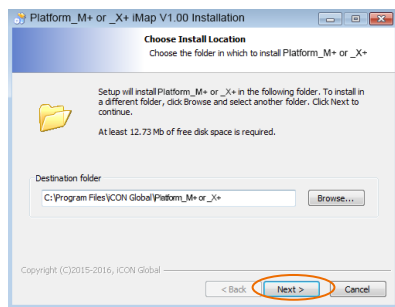


図 2

4. ショートカットを選択します。

iMap™ のショートカットを作成したいスタートメニュー・フォルダを選択します。「次へ」をクリックして続行します。

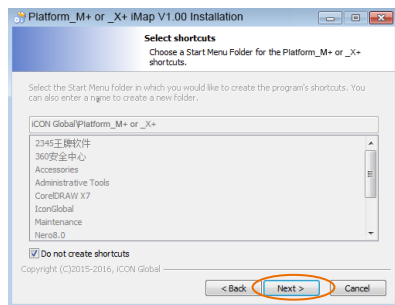


図 3

5. デスクトップにショートカット・アイコンを作成します。

iMap™ のショートカット・アイコンをデスクトップに作成したくない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。それ以外の場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

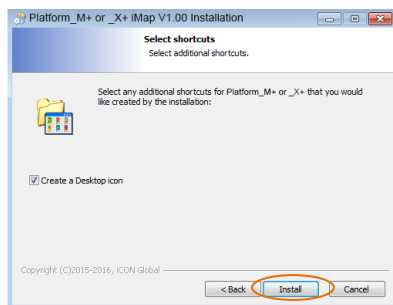


図 4

6. iMap™ のインストールが開始されます。

これで iMap™ のインストールが開始されます。インストールが完了するまでお待ちください。完了したら「次へ」をクリックして続行します。

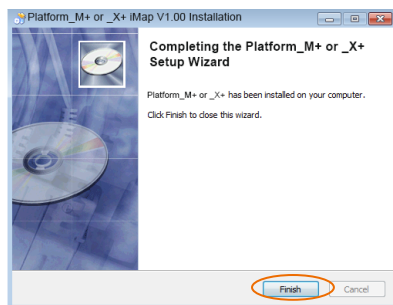


図 5

7. iMAP ソフトウェアを起動するデスクトップ上の iMAP ロゴをクリックしてください。

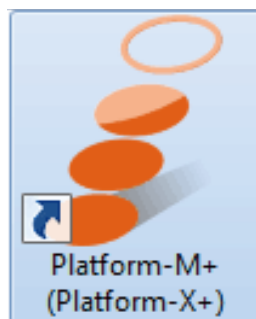
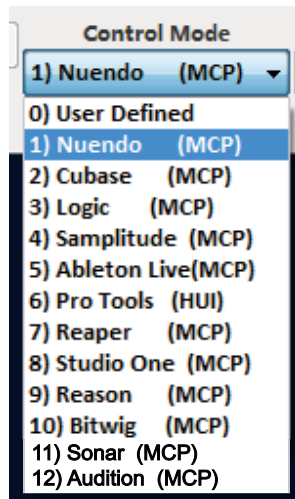


図 6

iMap™ による DAW モードの割り当て (Mackie Control/HUI) または MIDI 機能の定義

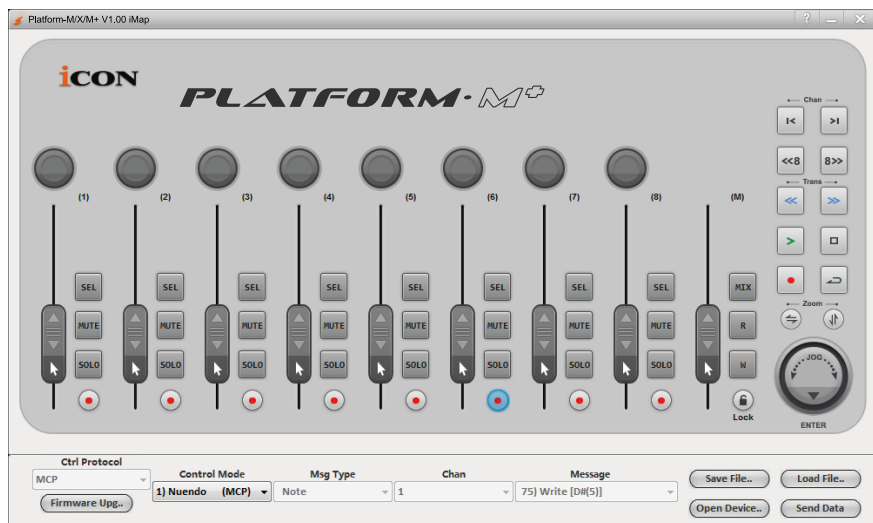


Platform M+ の設定方法は 2 つあります。一般に、使用する DAW に応じて Mackie Control/HUI プロトコルで予めマッピングされた DAW モードに、デバイスを設定するのが簡単かつ迅速な方法です。デバイスには、以下のような DAW Mackie/HUI プロトコルが内蔵されています：

1. Nuendo (Mackie 制御プロトコル) – Nuendo 用
2. Cubase (Mackie 制御プロトコル) – Cubase 用
3. Logic (Mackie 制御プロトコル) – Logic Pro X 用
4. Samplitude (Mackie 制御プロトコル) – Samplitude Pro 用
5. Ableton Live (Mackie 制御プロトコル) – Ableton Live 用
6. ProTools (HUI 制御プロトコル) – Pro Tools 用
7. Reaper (Mackie 制御プロトコル) – Reaper 用
8. Studio One (Mackie 制御プロトコル) – Studio One 用
9. Reason (Mackie 制御プロトコル) – Reason 用
10. Bitwig (Mackie 制御プロトコル) – Bitwig 用
11. Sonar (Mackie 制御プロトコル) – Sonar 用
12. Audition (Mackie 制御プロトコル) – Audition 用

あるいは、iMap 機能のプルダウンメニューにあるご自分の MIDI メッセージを使って、Platform M+ に各制御エレメントを定義することができます。ただし、DAW の MIDI 構造を十分に理解していないと、設定が非常に困難になる可能性があります。当社では、最も一般的なユーザーの基本設定に応じてプログラムされ、ユーザーのニーズに適していると思われるプレマッピングされた DAW モードの使用を強くお勧めしています。

iMap™を使った DAW モード (Mackie control/HUI) の割り当て



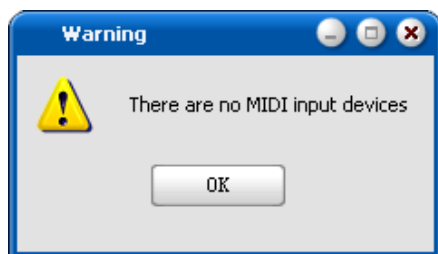
iMap™ Platform M+ ソフトウェア・パネル

ヒント: DAW モードの選択には、iMap の代わりにハードウェアを使用することもできます。指示については P.9 を参照してください。

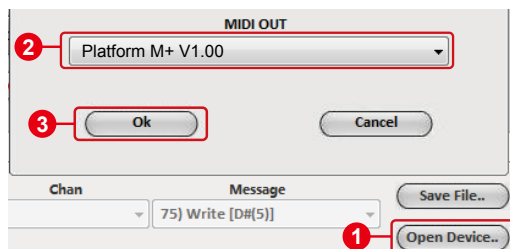
DAW モードの設定を開始するには、iMap を使って Platform M+ を接続します。以下の手順に従ってください：

1. Platform M+ をお使いの Mac/PC に接続します。
2. iMap を起動して「Connect Device」をクリックします。

注意: ご利用の Platform M+ がコンピューター (Mac/PC) に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、Platform M+ を USB ポートでコンピューター (Mac/PC) に接続してください。

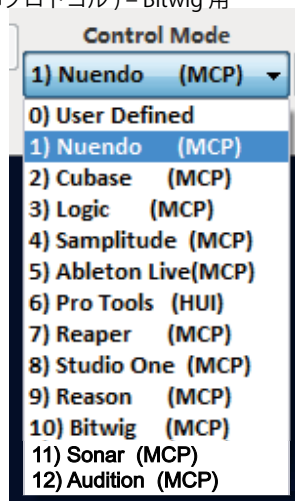


3. ポップアップメニューから、MIDI 出力デバイスとして「Platform M⁺」を選択します。



4. お使いの DAW に応じて、「モード」プルダウンメニューから DAW Mackie/HUI プロトコルモードを選択します。異なる DAW モードは以下のリストをご覧ください：

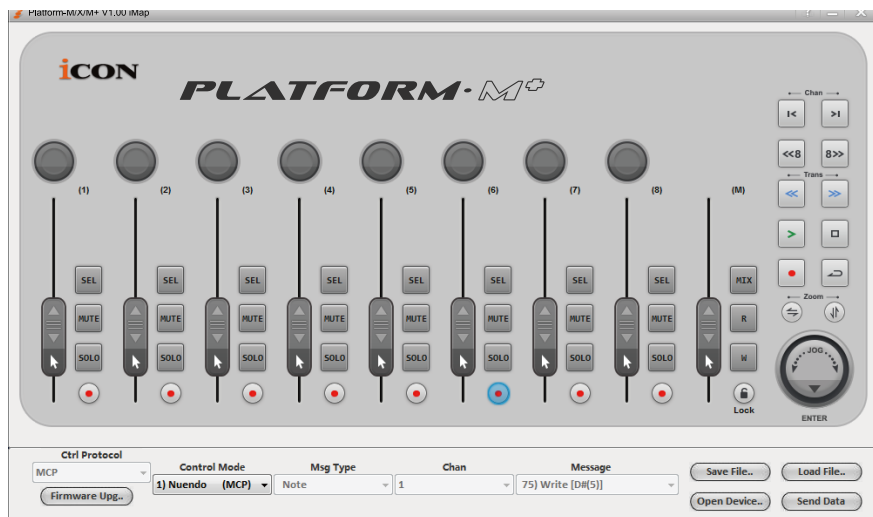
1. Nuendo (Mackie 制御プロトコル) – Nuendo 用
2. Cubase (Mackie 制御プロトコル) – Cubase 用
3. Logic (Mackie 制御プロトコル) – Logic Pro X 用
4. Samplitude (Mackie 制御プロトコル) – Samplitude Pro 用
5. Ableton Live (Mackie 制御プロトコル) – Ableton Live 用
6. ProTools (HUI 制御プロトコル) – Pro Tools 用
7. Reaper (Mackie 制御プロトコル) – Reaper 用
8. Studio One (Mackie 制御プロトコル) – Studio One 用
9. Reason (Mackie 制御プロトコル) – Reason 用
10. Bitwig (Mackie 制御プロトコル) – Bitwig 用
11. Reason (Mackie 制御プロトコル) – Reason 用
12. Bitwig (Mackie 制御プロトコル) – Bitwig 用



注意：DAW モード (Mackie Control/HUI) では、Platform M⁺ 上の制御に対する MIDI メッセージ設定を変更できません。

5. すべての設定を作成し終わったら「Send Data」をクリックします。
6. iMap を閉じます。

iMap™を使用したユーザー定義モードでのMIDIメッセージの割り当て

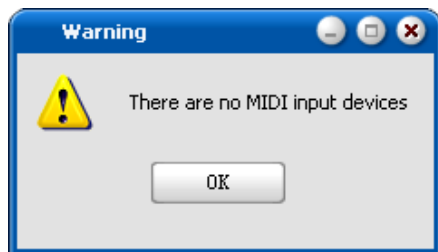


iMap™ Platform M+ ソフトウェア・パネル

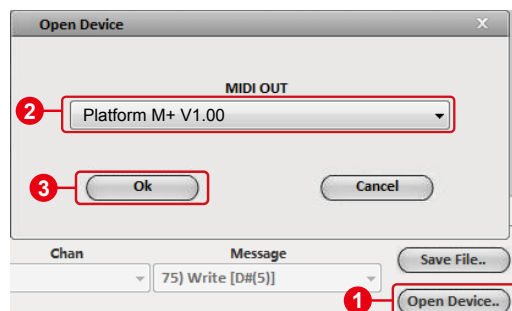
「User-Defined Mode」モードの設定を開始するには、iMap を使って Platform M+ を接続します。以下の手順に従ってください：

1. Platform M+ をお使いの Mac/PC に接続します。
2. iMap を起動して「Connect Device」をクリックします。

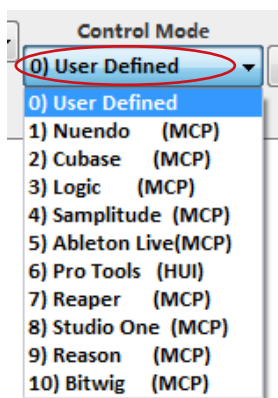
注意：ご利用の Platform M+ がコンピューター（Mac/PC）に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、Platform M+ を USB ポートでコンピューター（Mac/PC）に接続してください。



3. ポップアップメニューから、MIDI 出力デバイスとして「Platform M+」を選択します。



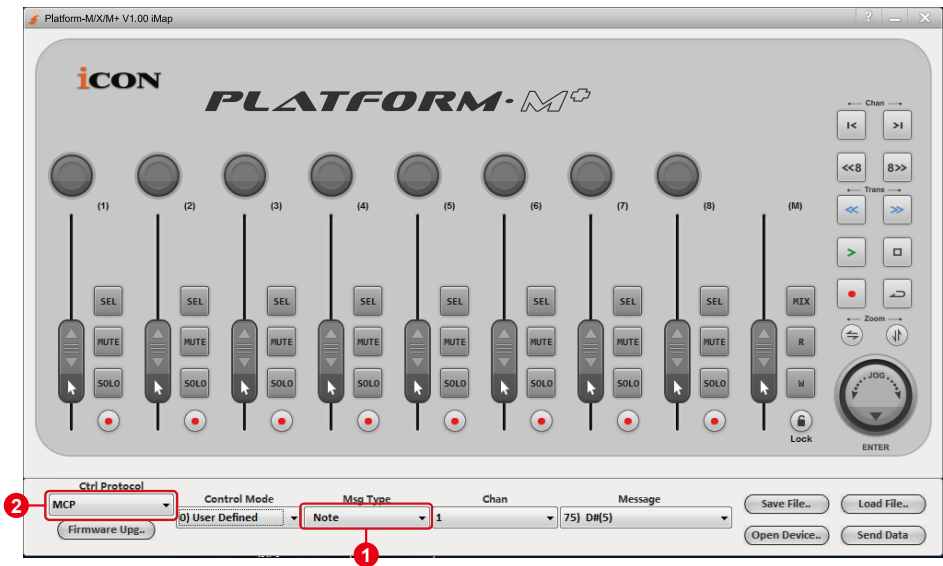
4. 「モード」プルダウンメニューで「User-Defined Mode」を選択します。ユーザー定義モードの各制御エレメント設定については、下記を P.40 ご覧ください。



5. すべての設定を作成し終わったら「Send Data」をクリックします。
6. iMap を閉じます。

ユーザー定義モードでの制御エレメント設定

iMap™ Platform M+ ソフトウェア・パネル



Platform M+ では、フェーダー、つまみ、ボタン、ジョグホイールなどの制御機能を使って独自の MIDI メッセージを設定できます。メッセージのタイプは「ピッチ」、「メモ」、「プログラム」、「CC」の 4 つの値があり、制御エレメントに応じて選択可能です。使用できる制御の設定値は、下の表を参照してください。

「制御エレメントチャート」

Control protocol	Control	Element	Available MIDI message setting values		
			Message type	Channel	Message
MCP	Faders	Slide	Pitch	1-16	0-127
		Touch sensitive	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI		Slide	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
		Touch sensitive	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
MCP	Knobs	Rotate	CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
		Enter	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI		Rotate	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
		Enter	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master
MCP	JogWheel	Rotate counter-clockwise	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
		Rotate clockwise	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
		Enter	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
		Rotate counter-clockwise	-	-	-
		Rotate clockwise	-	-	-
		Enter	-	-	-
MCP		All buttons except "Lock" button	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	Buttons	All buttons except "Read", "Write", "Lock", "Hori-Zoom" & "Vert-Zoom"	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master

また、お使いの DAW に応じて適した制御プロトコル (MCP または HUI) **②** を選択し、Platform M⁺ と DAW 間の通信を確立することもできます。異なる DAW に推奨される制御プロトコルについては、下の表を参照してください。

「異なる DAW に推奨されるプロトコル」

Nuendo	MCP
Cubase	MCP
Logic Pro X	MCP
Samplitude Pro	MCP
Ableton Live	MCP
Pro Tools	HUI
Reaper	MCP
Studio One	MCP
Reason	MCP
Bitwig	MCP
Sonar	MCP
Audition	MCP

iMap™ のその他の機能



1. 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、現在の Platform M⁺ の設定を保存します。保存ファイルの拡張子は「.Platform M⁺」です。

2. 「ファイルを開く」ボタン

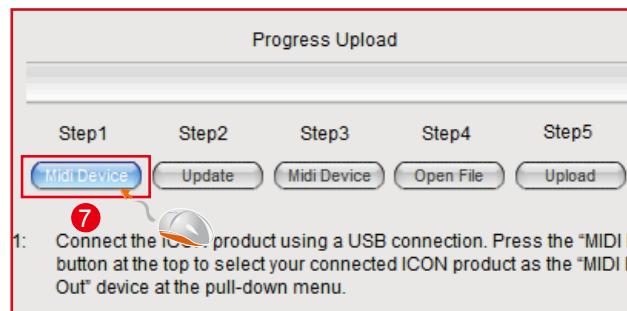
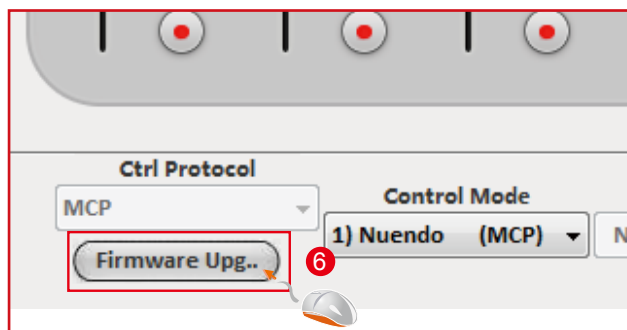
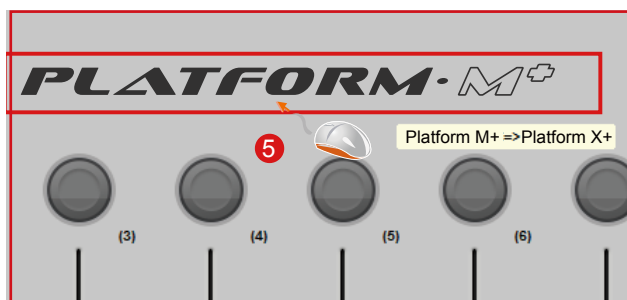
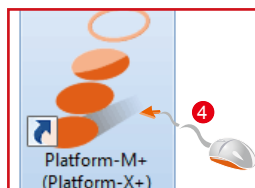
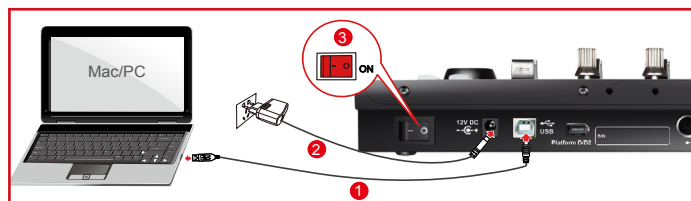
このボタンをクリックして、保存された Platform M⁺ の「.Platform M⁺」設定ファイルを開きます。

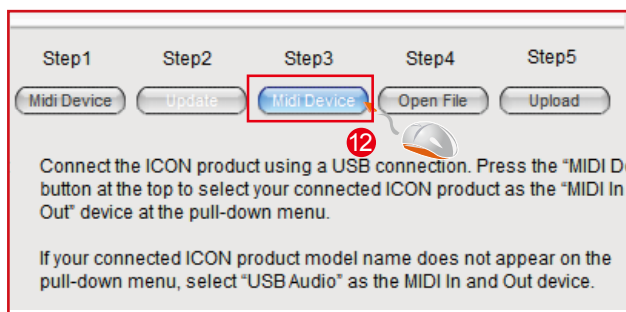
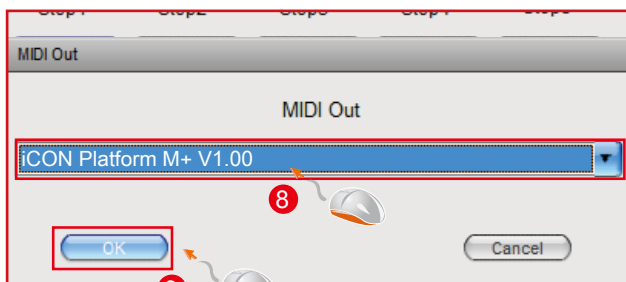
3. 「ファームウェア・アップグレード」ボタン

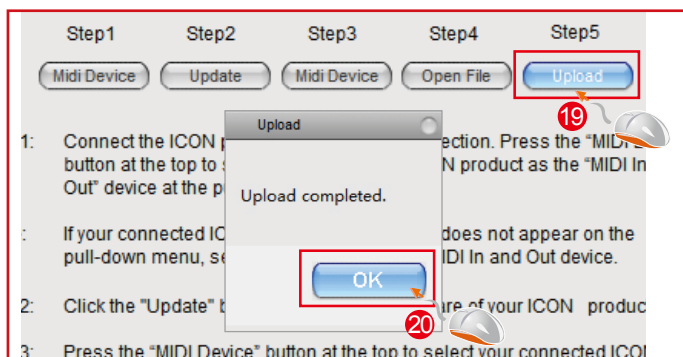
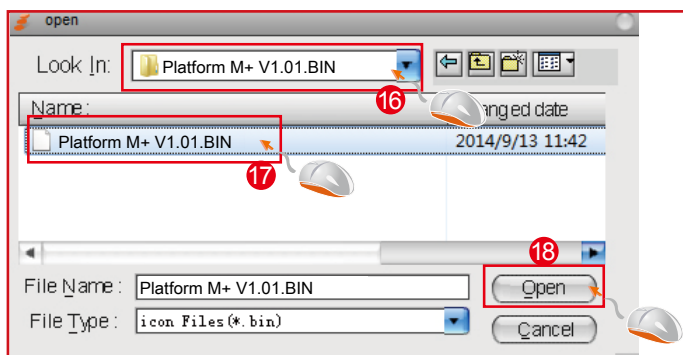
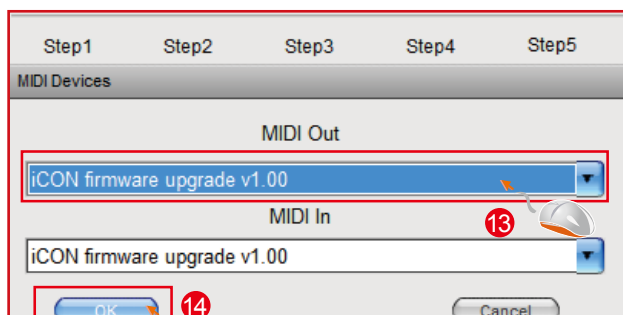
このボタンをクリックすると、Platform M⁺ のファームウェア・アップグレード・ウィンドウに進みます。ファームウェア・アップグレードの手順については、45 ページをご覧ください。

ファームウェアのアップグレード

Platform M⁺ functional firmware upload procedure







デフォルト工場設定に戻す

Platform M⁺ 設定を出荷時の設定に復元するには、iMap を起動し、以下の手順に従って元の設定 (すなわち、変更前の設定) をデバイスにインポートします。

1. 付属の USB ケーブルを使って Platform M⁺ を接続し、iMap ソフトウェアを起動します。
2. 「MIDI Device」ボタンをクリックして、「Platform M⁺」を MIDI 入出力デバイスとして選択します。
注意：プルダウンメニューに Platform M⁺ が表示されない場合は、USB オーディオを MIDI 入出力デバイスとして選択してください。
3. 「Send Data」をクリックして、Platform M⁺ に設定をアップロードします。
4. iMap を閉じてから、Platform M⁺ の電源を一度切って入れ直します。

製品仕様

接続端子：	コンピューター出力	USB コネクター
電源供給：		12V/2.5A DC
消費電力：		最大 2.0A
重量：		1.855kg (4.1lb)
寸法：		395(L) x 196(W) x 58(H)mm
		15.6"(L) x 7.7"(W) x 2.3"(H)

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)

2. ダウンロード

3. 詳細情報

4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。
<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送いただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

Sound-Service Musikanlagen-Vertriebsgesellschaft mbH
Am Spitzberg 3
D-15834 Rangsdorf
Telephone: +49-(0)33708-933-0
Fax: +49-(0)33708-933-189
E-Mail: info@sound-service.eu

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



www.iconproaudio.com



www.support.iconproaudio.com



www.twitter.com/iconproaudio



www.instagram.com/iconproaudio



www.facebook.com/iconproaudio



www.youtube.com/iconproaudio